

平成 30 年度第 4 回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	平成 30 年度第 4 回東浦町地域公共交通会議
開催日時	平成 31 年 1 月 25 日（金）午後 2 時 30 分から午後 4 時 00 分まで
開催場所	東浦町勤労福祉会館 2 階 会議室 1
出席者・欠席者	別添「平成 30 年度第 4 回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正について【協議】
その他	平成 30 年度第 5 回東浦町地域公共交通会議の開催予定について
傍聴者の数	6 人

審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇会長

今回、議題は 1 つである。皆様の意見、ご協力をお願いする。

◆防災交通課長

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、27 名中 26 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 6 名であることを報告する。また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

◆防災交通課長

それでは引き続き議事に入らせていただく。

◇会長

次第に従い議事を進める。議題 平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正について、事務局から説明を求める。

議題 平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正について【協議】・・・資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3、資料 2-1-1、資料 2-1-2、資料 2-1-3、資料 2-1-4、資料 2-1-5、資料 2-2

◆事務局 A

資料に沿って説明をする。

まずは、「資料 1-1 う・ら・ら新ルート案」を見ていただきたい。前回の会議では、新ルート案を 3 案提案させていただいたが、その後、地域の方々や運行事業者の意見を聞きながら協議し、今回は 1 つの案に絞って提案させていただいた。前回の会議で提案した他の案としては、ポンチョに石浜コミュニティセンターや生路コミュニティセンターの前などの狭路を運行させる案と新田地区で小型車両を導入する案があった。ポンチョに狭路を運行させる案については、地域からはコミュニティセンター前などにポンチョを運行させるのは危なくないか、運行事業者からは、もし路上駐車等があった場合に運行できなくなる

可能性があるという意見をいただいたため、そういった不安要素がある中で、運行させるのは妥当ではないと判断し、やめさせていただいた。また、新田地区で小型車両を導入する案については、前回の会議でも話が出ていたが、町内全体の利便性を考えた際に、妥当ではないと判断し、やめさせていただいた。

次は「資料 1-2 う・ら・ら新ルート 新設バス停位置図」について説明する。今回大幅にルートを変更するため、新設するバス停や移設した方がよいと思われるバス停がある。そのバス停等について簡単に説明する。まず、①・②の於大公園南であるが、このバス停は現行のバス停位置では大循環線の一部が停まらないことになってしまうため、移設を提案した。次に③・④の芦間については、新路線にすることにより廃止しなければいけない位置にバス停があるが、少し移動させるだけで、石浜コミュニティセンターなどを運行する黄緑色路線のバス停にできるので、移設を提案した。⑤の石浜コミュニティセンターは新設である。⑥・⑦の石浜南についても少し移設させるだけで、大循環線、深緑色路線、黄緑色路線の全ての路線に対応するバス停にすることができるため、移設を提案した。⑧の衣浦台（うらん前）、⑨の体育館南、⑩生路小学校北、⑪生路コミュニティセンターについては新設である。⑫・⑬のふじが丘については、少し移設することで深緑色路線と黄緑色路線のバス停として利用できるため、移設した。ただ、バス停名については他のバス停名のこととも勘案して、ふじが丘北という名前にした。⑭のふじが丘、⑮のふじが丘南は新設である。⑯の上高根台東と⑰の上高根台西についても新設であるが、この上高根台のバス停付近はカーブや坂があるところになるので、安全面を考えた位置にした。また、上高根台西については、目の前にトイレがあるため、待合環境もよいと考えている。⑱の葵の荘のバス停についても新設であるが、このバス停は朝の新田地区から長寿医療研究センターの直行便の1便のみ使うバス停である。

次に「資料 1-3 緒川駅東口～刈谷駅南口 変更ルート（案）」についてである。こちらは、現行の刈谷線の路線を一部変更したいと考えている。現在、緒川駅東口から刈谷豊田総合病院に行くルートは青色ルートになるが、赤色ルートに変更することにより、運行時間を短縮することができるからである。なお、刈谷警察署と刈谷市都市交通課には意見を聞いており、問題はないと回答をいただいている。また、新ダイヤ案では刈谷駅南口で休憩することがなくなるため、現行の「緒川駅東口」→「イオン東浦」→「刈谷豊田総合病院」→「刈谷駅南口（終着）」→「刈谷駅南口（始発）」→「刈谷豊田総合病院」→「イオン東浦」→「緒川駅東口」から、「緒川駅東口」→「イオン東浦」→「刈谷豊田総合病院」→「刈谷駅南口」→「イオン東浦」→「緒川駅東口」として循環路線のようにして、ここでも時間短縮をできればと考えている。

次に「資料 2-1-1 う・ら・ら新ダイヤ（案）」を見ていただきたい。これからは、新ルートのダイヤ案の説明となる。左上の方を見ていただくと、「大循環線（右回り）」と記載があると思う。つまりこれは大循環線（右回り）のダイヤとなる。資料 2-1-2 は大循環線（左回り）のダイヤ、資料 2-1-3 では小型車両①+3号車、つまり基本的には深緑色と黄緑色の路線のダイヤ、資料 2-1-4 は、現在の「う・ら・ら」タクシーの代替となるバスのダイヤ、資料 2-1-5 は、新田地区から長寿医療研究センターに直行するバスのダイヤとなるので、そういった形で資料を見ていただきたい。具体的なダイヤの見方を簡単に説明させていただくので、一度、資料 2-1-1 に戻っていただきたい。左上の方に青色で、「2号車-1」や「4号車-1」と記載があると思う。○号車はバスの種類を表し、ハイフン以降は何

便目かを指している。つまり「2号車-1」というのは2号車の1便目の運行ということであり、その後、「2号車-2」に繋がっていくということである。その他として、深緑色で3号車-〇というものもあると思うが、深緑色路線を走行する3号車は、大循環線と同じバス停を通ることが多いので、参考までに3号車のダイヤも記載させていただいている。また、本ダイヤは、緒川小学校と藤江小学校の通学のことも考慮して作成しているが、緒川小学校と藤江小学校の利用したい時間帯等については、各小学校の方に確認して作成している。各小学校の全ての要望に応えることはできていないが、概ね対応できていると考えている。要望の強かった朝の刈谷方面への便については、一番早い便で、平池台を7時47分に出発して、刈谷豊田総合病院に8時31分に到着する便を作った。その次の時間帯としては、緒川駅を9時15分に出発して、9時25分に刈谷豊田総合病院に到着する便を作った。しかし、この時間帯は小型車両しか運行させることができなかったため、乗りこぼし対策として、小型車両2台で9時15分を運行させることにした。前回の会議でも話をした、緒川小学校の通学時間帯以外は、緒川小学校南のバス停を通るルートではなく、よしだ眼科やまつおか整形外科のある、於大公園南のバス停を通るルートにしてはどうか、というものについても対応させていただいたので、確認していただければと思う。その他全体的な話になるが、今回の新ダイヤは、朝の時間帯を充実させるダイヤとなっている。したがって、運転手の拘束時間の関係から夜は少し早く終了することになっているので、その点は注意していただきたい。

次に「資料2-2 大循環線⇄小型車両・3号車 緒川駅乗り継ぎ時刻（案）」を見ていただきたい。こちらは、大循環線⇄刈谷方面などの乗り継ぎ可能なダイヤについて、記載をさせていただいているので、新ダイヤと合わせて確認をしていただければと思う。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員 A

資料1-1の高根口のバス停についてだが、東ヶ丘団地内のバス停から乗車し、交流館前の高根口で下車する人がいる。しかし、現在の案では、大循環線の右回りでは交流館前の高根口のバス停に停まるが、左回りでは、高根口で下車できず、上高根台西まで行ってしまふ。したがって、できれば、高根口の信号を上高根台方面に少し行ったところにも高根口のバス停を作っていただきたい。

◆事務局 B

交流館への利用がどのくらいあるのか、分かれば教えていただきたい。

◆委員 A

交流館で実施されるサロンは週に3回ほどある。バス利用人数までは分からないが、バス利用者は少なくないと思う。

◆事務局 B

バス停の実際の位置については、半田警察署さんと現地立ち合いのもと決定していくが、新たな高根口のバス停設置についても検討させていただく。

◇副会長

新たな高根口のバス停が置けるかはわからないが、右回りでは交流館に行けて、左回りではいけないとなると混乱する可能性があるため、置けるのであれば、置けばいいと思う。ただ、交流館前のバス停名は「交流館」とバス停名を変えてもいいかもしれない。新しい

バス停の方は、高根口公園としてもいいかもしれない。

◆委員 B

現在、うららタクシーは3往復しているが、新ダイヤでは小型車両の一台で代替するというのでいいか。

◆事務局 A

現在は、うららタクシーで10名を輸送しているが、新たな小型車両は運転手を除いて13名乗りの車両を検討しているので、1便で済むと考えている。

◆委員 C

刈谷豊田総合病院への便が不便だと感じるがどのように見ればいいのか？

◆事務職 A

例えば、何時ごろに刈谷豊田総合病院へ行きたいか？

◆委員 C

県営住宅から乗車して、2時半前に刈谷豊田総合病院に行きたい。また、3時過ぎに刈谷豊田総合病院から緒川方面に帰りたい。

◆事務局 A

申し訳ないが、現状のダイヤでは県営住宅から2時ごろに刈谷豊田総合病院に行く便と3時ごろに緒川方面に帰る便はない。

◆委員 D

現在のダイヤは利便性向上という意味では非常に優れていると思うが、乗務員の労働環境という意味では厳しいと感じる。現在、大循環線において緒川駅で休憩時間が10分～15分程取ってあるが、道路状況によっては、遅延が起これば休憩が取れないということになる。また、3号車のダイヤについても休憩時間がしっかり取れているとは言えず、もし、休憩が取れなければ、連続運転が続き、法令違反となってしまう。ダイヤ上では大丈夫だとしても、実態で判断されるので、非常に危険なダイヤと感じている。もう少し、休憩時間をゆったりと取ったダイヤにしていただきたい。

◆事務局 A

ご意見があったとおり、乗務員の休憩時間はもっと精査して検討していきたいと考えている。ただ、現在のダイヤでもゆったりとしたダイヤで組んではいるところもある。例えば、3号車-2を見ていただきたいが、8時21分に緒川駅を出発して刈谷方面に行った後イオン東浦に帰ってくるのが8時48分となっており、その後緒川駅に到着するのが、8時54分となっていると思う。このダイヤではイオン東浦から緒川駅に行くまでに6分取ってあるが、通常は6分かからない。遅延対応と早発防止のためにこのような時間になっているのだが、こうして時間をゆったり取っているところもある。とは言え、法令違反となつてはだめなので、休憩時間はより精査させていただく。

◇副会長

事務局の説明したとおり、休憩時間以外にダイヤ上でゆったりと時間を取り、調整しているところもあるが、それでも休憩時間の確保はしっかり考えていかなければいけない。非常に渋滞した場合などは対応しきれない時もあるので、11時台にもう少し大きく休憩を取った方がいいかもしれない。

また、先ほどの2時台に刈谷方面に行けなくなったというものだが、今までは行けたが、便数を増やすことによって行けなくなってしまったという状況である。この時間をどうに

かしようとすると全体の影響が大きいので、できれば病院の時間の変更をお願いしたいところである。

◆委員 E

今回バス停の新設や移設があると思うが、道路上の設置する場合は、道路占用の手続きが必要になるため、忘れずに手続きしていただきたい。

◆委員 F

情報提供となるが、体育館南のバス停を置く道路だが、現在歩道設置を進めているところであり、事業が進んでいるところなので、体育館南のバス停の位置については事業課の土木課と相談して決めていってほしい。

◆委員 G

刈谷市でも平成 31 年 4 月にダイヤ改正を予定しているため、ダイヤ決定の際には参考にさせていただければと思う。また、刈谷線のルート変更について、変更したルートは近くの幼稚園や小学校の子供達も通る道なので、気を付けて運行していただければと思う。

◆委員 A

上高根台のバス停付近は、カーブがあり、危ない道路でもあるので、バス停付近に横断歩道等の設置も検討していただきたい。また、東ヶ丘団地内は大循環線の右回りも左回りも同じ回り方をするので、少し混乱すると思う。混乱を防ぐためにも分かりやすいダイヤ表示をお願いしたい。話は変わるが、今回導入する小型車両は 2 台とも 14 人乗りの車両となるのか。

◆事務局 A

2 台とも 14 人乗りにできればと考えている。

◆委員 H

刈谷方面への話だが、小型①-7 が 17 時 53 分緒川駅を出発するが、小型②-6 便が 18 時に緒川駅に到着するので、小型①-7 をもう少し遅く出発させて乗り継ぎできるようにしてはどうか。またその上で、現在、小型①-7 が刈谷方面から緒川駅に帰ってくるのが 18 時 25 分となっているが、2 号車-5 で 18 時 35 分に緒川駅を出発するものがあるので、このバス間同士も乗り継ぎできるようなダイヤになれば、より利便性が増すと思う。

◆事務局 A

全体に絡んでくるので、できるかどうかはわからないが、とてもいい案なので、検討してみたいと思う。

◇副会長

最後の方の便なので、対応は簡単だと思われる方もいるが、乗務員の勤務時間の兼ね合いもあり、勤務時間がオーバーとなる可能性がある。こういったダイヤは勤務時間ぎりぎりに作ることが多いので、厳しい気がしなくもないが、いい提案なので考えていきたい。

◆委員 I

基本的なことになるが、今回の議題はダイヤ改正について、となっているが、これはダイヤを決めるというものになるのか、路線を決めるというものになるのか？

◆事務局 A

バス停の位置については、警察の許可があるので、今後多少ずれていくことはあると思うが、概ねの位置としては今回決めたいと思っている。また、ルートについては、ここで決めればと思っている。

◆委員 I

そうすると今回の会議のものでいろいろと申請されていくと思うが、廃止のルートに関する議論がされていない。また、刈谷のルート変更について、保安上の確認が刈谷警察署になり、本日出席されていないので、合意されたと言えない。

◇副会長

当然今回の資料で申請するわけではない。こういった形で進めるということである。

◆事務局 A

今回は新ダイヤの方向性を議論していると捉えている。次回は3月に公共交通会議を実施したいと考えており、その時にももちろん議題としてあげる予定である。

◆委員 I

そういったことであれば、問題ない。

◇副会長

今日、話題にはあがらなかったが、JRとの接続については、考慮することはできなかった。接続がよい時もあるし、できない時もあるという状況である。今日の議論を聞いて、JRとの接続まで考えることが、いかに難しいかをわかってくれたと思う。どうしてもJRとの接続は優先度が低くなってしまう。

◆委員 J

基本的なことになるが、各バスの定員を教えてください。

◆委員 K

中型バスは58名、ポンチョ33名、小型車両13名である。

◇副会長

今回ダイヤ改正することにより、バス停を新設したり、移設したりすることになる。道路事情等で設置できないところもあるが、新設するバス停だけでなく、現状のバス停の位置についてももう一度考えてもらいたい。まだ時間があるので、もう一度、バス停の位置が本当にここでいいのかなどの点検もしていただければと思う。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

その他

◇会長

その他で何かあるか？

◆防災交通課長

次回の会議開催予定についてだが、3月下旬に開催したいと考えている。

◇副会長

2月10日（日）に岐阜県の白川町でシンポジウムを実施する。面白いシンポジウムになるので、お時間がある方は来ていただければと思う。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。